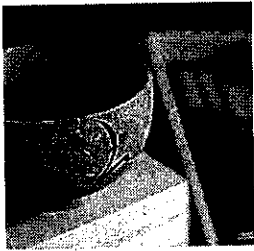


福井窯業（株）

もに震災前の体制に復帰 意識の高まりに添える新  
する見通し。施主の防災 しい提案で増収を狙う。

「幻の石」で酒杯・はし

笏谷石使用 福井県と福井窯業



福井県は福井窯業（福  
井市、近藤登幹夫社長）  
と、福井城跡の石垣にも  
使われている福井市のシ  
ンボルの笏谷石（じやく  
だにいし）を使った酒杯  
とはしⅡ写真Ⅱを発売し

た。初代福井藩主の結城  
秀康を主人公にした歴史  
小説「家康の子」の発刊  
に合せて地域活性化を  
目指すプロジェクトの第  
3弾で、このほど同社が  
発売した。

商品は歴史的建造物の  
瓦の施工などを手がける  
同社が製作。酒杯（1万  
8900円）は16代藩主、  
松平春嶽が所有していた  
品を参考にした。はしⅡ  
（2500円）は福井市中心

部にあり、かつては笏谷  
石と木で作られていた  
「九十九橋」をイメージ  
し、上端に笏谷石を飾り  
として付けた。

笏谷石は福井市で住宅  
や寺などの基礎として幅  
広く用いられてきた。2  
005年に起きた大規模  
な陥没で、採掘場が埋ま  
り、今では幻の石と言わ  
れている。今回は撤去し  
た建物などに使われてい  
た石を使った。

酒杯とはしは東京にあ  
る眞のアンテナショップ  
などでも扱う計画だ。